

令和5年度 自己評価結果

○本園の教育方針、保育目標

当園では、人間の正しい生き方を究明しつつ、すべての園児が正直、礼儀を重んじ、規律を正し、誰からも愛される人間味のある要素を幼児期に身につけさせ、自然の中でびのびと育成し、心身を鍛え、個性豊かな想像力を養うべく次の教育方針を園の姿勢とする

- 1, からだの丈夫な子の育成
- 2, 自主的に何でも成し遂げる子の育成
- 3, 個性想像力豊かで知的感覚に富む子の育成
- 4, 集団生活の中で友達と仲良くできる子の育成
- 5, ゆびざん指導の実施

○本年度、重点的に取り組む目標、計画

新型コロナウイルス感染症への理解は深まってきている状態だが、まだ不安に思う方も一定数いることを考慮する。
十分な説明を行ったうえで、少しずつ園行事を再開していく。
園児のかけがえのない生活を充実させられるよう創意工夫していく。

◎保育の質の向上を図るために自己評価を実施しました。
今後もより良い保育を提供できるよう努力して参ります。

達成度	A	ほぼ達成(80%以上)
	B	概ね達成(60%以上)
	C	変化の兆し(40%以上)

教育・保育・理念

- 園の方針を理解し、職務に就く事ができた
- 子どもを一人の人としてその存在を尊重し、接することができた
- 5つの教育方針を基本とし、教育、保育にあたる事ができた
- 安心、安全を常に考え、教育、保育にあたる事ができた
- 幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿を意識しながら、園での活動におろす事ができた

A
A
A
A
A

園の職務

- 職員間の情報は、幼保スタッフで連携が図れた
- 個人情報に考慮して、その責任を果たした
- 不適切な言葉や威圧的な言葉を使わずに、子ども達と関わる事ができた
- 不適切な発言や威圧的な発言に十分注意して、保護者対応にあたる事ができた
- 問題が起きた時には一人で抱え込まず、園長、副園長、リーダーに相談、報告する事ができた
- 1安全、2礼儀、3教育保育、4効率を意識し、職務にあたる事ができた

B
A
A
A
A
A

行事

- 園が従来から続けてきた行事の意味を理解し、出来る内容を考えて行う事ができた
- 行事までの過程を大切に考えて、日々の活動を行ってきた
- 子どもの健やかな育ちに繋がるよう活動内容を工夫した
- 子どもの意欲や思いやりの気持ちを育むきっかけに繋げる事ができた
- 声を掛けたり促したりしながら、子どもが苦手意識を持たないような工夫をした

A
A
A
A
A

職員の資質、保育の質の向上

オンライン等を活用した研修を受ける事ができた	B
資質、保育の質の向上に関して、自ら学びの機会を持つよう努力した	B
スタッフ同士のやり取りの中に、気持ちの良い挨拶や感謝の言葉等を意識したコミュニケーションが図れた	A
問題点があった時には、思いやりの気持ちをもって、職員同士指摘し合う事ができた	A
職員に助言を求める等、積極的に自身及び保育の質の向上に繋げる努力をした	A
保育、教育に関わる書籍の購入や自身の学びに繋げる取り組みができた	B
保育にふさわしく、状態の良い服装で職務に就く事ができた	A

地域の子育て支援

外掃除や移動の際、地域の方に積極的に挨拶をする事ができた	A
園庭開放と1歳児未就園児教室、けやきっこクラブが、在園児、卒園児に関係なく、地域の親子を対象にした子育て支援であることを理解している	A
園庭開放、1歳児教室やけやきっこクラブが、地域の子育て支援に繋がっている事を理解している	A
園庭開放、1歳児、2歳児未就園児教室が地域の子育て支援に繋がるよう、公民館などに協力を依頼し、ポスターで掲示していることを理解している	A
近隣の店舗と協力し、絵本の読み聞かせを行うなどして地域との関わりがあることを理解している	A

衛生管理及び保健管理

体調不良による欠勤や遅刻がなく、自身の健康管理に努める事ができた	B
子どもの体調の変化に気づく事ができた	A
体調不良等で欠席の児童に、電話等で連絡を入れ、保護者と話す事ができた	A
必要な場所や時刻に、消毒を行うなど、感染対策を意識し行う事ができた	A
保育時間中に子ども用トイレに行き、濡れていたり汚れている部分がないか確認するよう心掛けた	A
清掃時以外も衛生面に常に意識をはらい、子ども達を保育する環境を整える事ができた	A

○次年度への課題○

- ・園の職員としての模範的行動については概ね達成できていたが、子どもの手本である事の重要性を忘れずに、常に安定した気持ちで保育にあたる
- ・研修への積極的参加、研究時間の確保等、全体の意識を上げながら、保育の質の向上をめざす
- ・幼保連携型認定こども園の特性として、地域の方々との交流も大切にしていく
- ・近隣住民への挨拶、掃除等々からも、日頃の感謝を伝えながら、応援していただける施設をめざす
- ・幼保連携型認定こども園としての役割を理解し、地域の方々との様々な関わりを増やしていく
- ・少子化の問題、幼稚園(教育部分)への入園離れが進む中、園としての策を考え取り組む
- ・園での活動を、多くの方に理解していただけるようSNS等も利用しながら安全に発信していく